

# SEIKO

## 置時計 取扱説明書 電波クロック

お買い上げありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよく  
お読みの上、正しくご愛用くださ  
いますようお願い申し上げます。  
なお、この取扱説明書はお手元に保  
存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。  
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。  
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。  
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきまして不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例: AM000、PW000、KRO00など)

フリーダイヤル  
お客様センター 0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp  
発売元  
セイコークロック株式会社

説明書番号 FDL-004J

## ACアダプターについて

ご使用中熱くなることがありますが異常ではありません。

### 警告

- (1) 付属のACアダプターは本製品専用アダプターです。本製品以外には使用しないでください。故障、発熱、発火の原因となります。
- (2) 必ずAC 100Vを使用してください。誤った電圧で使用すると、故障、発熱、発火の原因となります。
- (3) ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき故障、感電、火災の原因となります。
- (4) ACアダプターやコードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- (5) 電源プラグのほこり等は定期的に取ってください。ほこり等がたまり、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。ACアダプターを抜き、電源プラグを乾いた布でふいてください。また、長時間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。
- (6) 日本国内専用です。海外では使用しないでください。
- (7) 必ず屋内で使用してください。
- (8) ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしないでください。感電の恐れがあります。

電源プラグ



## 製品の特長

- 標準電波を受信して現在時刻を表示する、電波修正機能つき。(日本国内対応)
  - 東西電波(福島・九州)を自動選局。
  - 夜も見えるLED表示 ※AC電源使用時のみ
  - 温度表示つき
  - アラームを一度止めても約5分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき。
- ※ 電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

## 電波クロックについて

### ■電波時計/電波修正機能とは

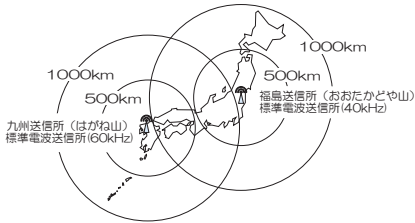
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

### ■標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヶ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。  
標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

### ■電波受信について

● 標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2ヶ所)からおおむね1000km~1200kmの範囲です。この製品は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



### ■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない場合があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様センターにお問い合わせください。(ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.jp>)

### ■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。

次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール機等の金属製の家具の上や近く。



## 保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただけます。修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合

## 使用場所・お手入れ方法

### ■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。  
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
- 浴室など湿気の多い所。
- 屋外など水のかかる所。
- 強い磁気や振動がある所。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。
- ビニール系素材の壁や敷物等に長く接していると、壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

### ■お手入れ方法

日常の手入れの仕方

- 枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

## 故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない	・ ACアダプターが接続されていない。 ・ きちんとリセットされていない。	・ 専用ACアダプターを奥までしっかりと差し込んでください。 ・ 確実に「リセットボタン」を押してください。
表示が欠けている	・ きちんとリセットされていない。 ・ 静電気等による誤動作。	・ 確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻が合っていない	・ 受信に成功していない。 ・ きちんとリセットされていない。	・ 裏面の「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・ 確実に「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・ 「アラームスイッチ」がOFFになっている。 ・ 静電気等による誤動作。	・ 「アラームスイッチ」をONにしてください。 ・ 確実に「リセットボタン」を押してください。

## 温度表示について

- 温度精度: ±2℃(15℃~25℃の範囲)、±4℃(-9℃~14℃と26℃~50℃の範囲)
- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度が以下の状態になったときの表示  
・ 温度 -9℃より低い: 「LO」 50℃より高い: 「HI」

## 製品仕様

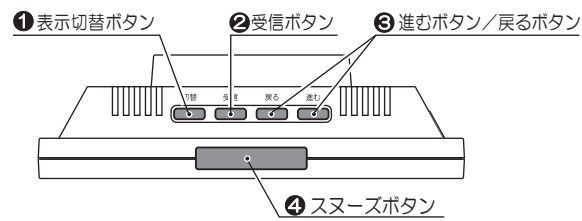
- 精度: 平均月差±30秒(気温5℃から35℃で使用した場合)(電波受信による時刻修正を行わない場合)
  - 表示精度: ±1秒(電波受信による時刻修正を行った直後)
  - 使用温度範囲: -10℃~+50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃~+40℃
  - アラーム: 電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ(スヌーズは何回でも繰り返すことができます。)
  - カレンダー: 2007年1月1日~2099年12月31日のフルオートカレンダー  
月末、うるう年とも修正不要。
  - 表示: AM(午前)/PM(午後)表示による12時間制表示、周囲温度表示
  - バックアップ電池: コイン型リチウム二次電池(ML2032) 1個  
※ 時刻・温度等のLED表示するためにはACアダプターが必要です。  
※ 停電時などでACアダプターからの電源が断たれたとき、内部の時刻がリセットされずに計時続けるための電池が内蔵されています。ACアダプターからの電源が復帰したとき、LED表示に正しい時刻を表示します。  
※ バックアップ電池で駆動しているとき、電波受信は行いません。
  - 駆動時間: フル充電の状態から約6ヶ月(バックアップ電池) ※ バックアップ電池はACアダプターからの電源が供給されている間、フル充電するまで充電し続けます。
  - 電波受信機能: 自動受信(午前2時から3時間ごと、次の受信までクォーツの精度で動いています。) 手動受信
  - 電源: 専用ACアダプター(B6081-7128)  
入力: AC 100V 50-60Hz 3 VA  
出力: DC 6.0V 200mA  
※ 必ず付属の専用ACアダプターをご使用ください。  
※ 時刻・温度等のLED表示するためにはACアダプターが必要です。
- ※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。



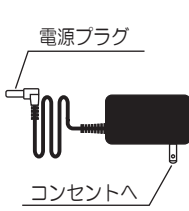
# ご使用方法

## ■各部の名称

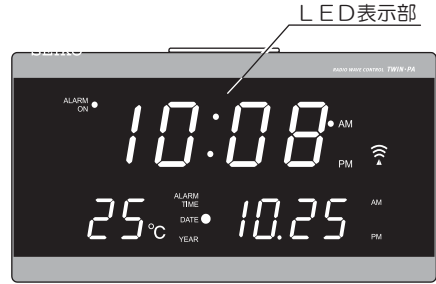
〔時計上面〕



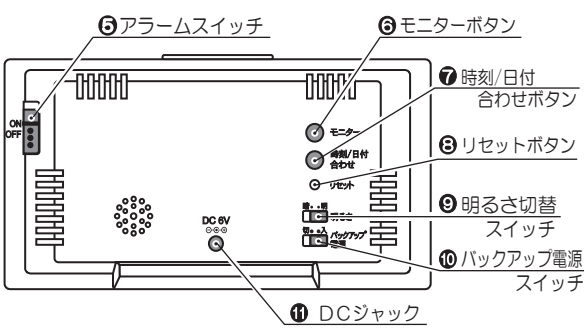
〔ACアダプター〕



〔時計前面〕



〔時計裏面〕



- ① 表示切替ボタン ———— 押すごとに、右下表示部が「秒」→「日付」→「アラーム時刻」の順に切替わります。
- ② 受信ボタン ———— 通常表示（時刻が表示状態）のときに押すと標準電波の受信を開始します。
- ③ 進むボタン/戻るボタン — アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
- ④ スヌーズボタン ———— アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が効きます。
- ⑤ アラームスイッチ ———— アラーム ON/OFF の切り替えができます。
- ⑥ モニターボタン ———— 押し続けている間、アラームが鳴り続けます。
- ⑦ 時刻/日付合わせボタン — 手で現在時刻を合わせるときに使用します。（2秒以上押し続けてください。）
- ⑧ リセットボタン ———— 使用開始時、先端の細いもので必ず押してください。  
※リセットされたときは、バックアップ電源による内部時計も初期設定されます。
- ⑨ 明るさ切替スイッチ ———— LED表示（時刻・日付・温度表示等）の明るさを2段階（暗/明）切替えることができます。  
※専用ACアダプターを接続してください。
- ⑩ バックアップ電源スイッチ — 使用時は「入」の位置に合わせてください。  
※長期使用されない場合は、「切」の位置に合わせてください。
- ⑪ DCジャック ———— 使用時、専用ACアダプターを接続してください。

## ■表示



### ご使用前に付属品をご確認ください

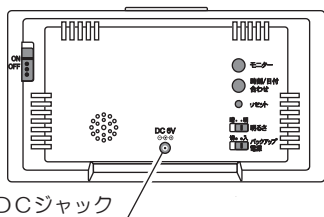
- ACアダプター 1個
- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書 1枚

## ■ご使用方法

ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

### 1. 専用ACアダプターを接続する

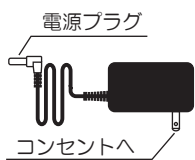
付属の専用ACアダプターの電源プラグを、時計裏面の「⑪ DCジャック」にしっかりと差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込んでください。



### 2. バックアップ電源スイッチを入にする

裏面の「⑩バックアップ電源スイッチ」を入の位置に合わせてください。内蔵のバックアップ電池が接続されます。

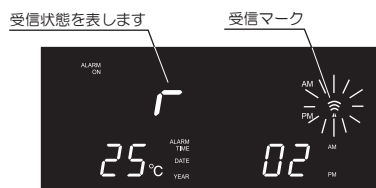
※ 停電時などでACアダプターからの電源が断たれたとき、内部の時刻がリセットされずに計時続けるための電池が内蔵されています。ACアダプターからの電源が復帰したとき、LED表示に正しい時刻を表示します。  
※ 時刻・温度等のLED表示するためにはACアダプターが必要です。  
※ バックアップ電池で駆動しているときは電波受信は行いません。



### 3. リセットボタンを先端の細いもので押す

表示が全て表示した後、標準電波の受信を開始します。

受信マークが点滅します。  
※ 内部の時刻はリセットされ、初期状態にセットされます。  
注) 「⑩バックアップ電源スイッチ」を切から入の位置に合わせた後は、必ず「⑧リセットボタン」を押してください。



### 4. 時計を設置する

本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。

受信中は、受信マークが点滅し、電波の受信状態がLED表示部に表示されます。「不適」の場合は電波を受信できませんので場所を変えてください。

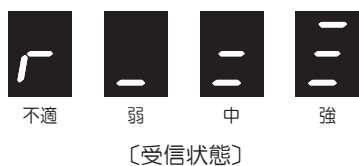
- 受信中に「④スヌーズボタン」を押すと、時刻表示に切替わります。
- 受信に要する時間は最長約23分間です。

#### 〔受信成功〕

- 受信マークが点滅し、[時：分][秒]が正しい時刻に修正されます。
- 受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

#### 〔受信できない〕

- 受信マークが点滅せず、このとき時刻の修正は行なわれていません。右記「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻を合わせてください。
- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



## 5. アラームを鳴らすには

- ① 「③進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
  - 「③進むボタン/戻るボタン」を押すと右下表示部がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。
  - アラーム時刻合わせの状態で「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
  - 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し元の表示に切り替わります。
- ② 「⑤アラームスイッチ」をONにしてください。
  - アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
  - 右下表示部にアラーム時刻が約4秒間表示します。
  - 「①表示切替ボタン」でアラーム時刻を選択している場合は、アラーム時刻が表示し続けます。
  - アラームマーク「ALARM ON」横のランプが点灯します。

## 6. アラームを止めるには

- アラームを止めるには2通りの方法があります。
- ① 「⑤アラームスイッチ」をOFFにして止める
    - アラームは完全に止まります。
    - アラームマーク「ALARM ON」横のランプが消灯します。
  - ② 「④スヌーズボタン」を押して止める
    - アラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。（スヌーズ機能）
    - スヌーズ中はアラームマーク「ALARM ON」横のランプが点滅します。
    - スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
- アラームは約5分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）  
この場合、アラームマーク「ALARM ON」横のランプは点灯されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

## その他の機能

### ■自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

### ■電波を受信できなかった場合

#### 1. 電波を手動で受信させて時刻を合わせる

- 「②受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
  - 受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。
  - うまく受信できない場合は本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マークが点滅しない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
  - 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
- また、夜間は屋間にくらべて受信状態が良くなりますので、屋間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

#### 2. 手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- ① 「⑦時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
- ② 「⑦時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- ③ 「③進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
  - 約5分以上「③進むボタン/戻るボタン」や「⑦時刻/日付合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に「通常表示」に切り替わります。時刻は「通常表示」に切り替わる直前の表示です。



〔通常表示〕  
普段はこの表示でお使いください。



〔年合わせ表示〕  
「③進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。年は2007年～2099年まで合わせられます。  
● 「YEAR」横のランプも点滅します。  
● 「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は10年単位で早送りします。



〔月/日合わせ表示〕  
「③進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。  
● 「DATE」横のランプも点滅します。  
● 「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は10日単位で早送りします。



〔時刻合わせ表示〕  
「③進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。  
「③進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。  
● 「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は10分単位で早送りします。

#### ④ 「⑦時刻/日付合わせボタン」を押して「通常表示」に切り替えてください。

### ■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）

- ① 「②受信ボタン」を、「OFF」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- ② 上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
  - この機能を設定した後も「②受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
  - この機能を解除するには「②受信ボタン」を「ON」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

### ■明るさ切替機能について

時刻・温度等のLED表示の明るさを2段階に切り替えることができます。「⑨明るさ切替スイッチ」を「明」または「暗」のどちらかに合わせてください。

### ■「秒」「日付」「アラーム時刻」表示切替機能について

「①表示切替ボタン」を押すごとに、右下表示部が「秒」→「日付」→「アラーム時刻」の順に表示が切替わります。（初期は「秒」表示にセットされています。）



「秒」表示（例：2秒）



「日付」表示（例：10月25日）  
「DATE」横のランプが点灯



「アラーム時刻」表示（例：午前7時）  
「ALARM TIME」横のランプが点灯

### ■試し鳴らしについて

「⑥モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

### ■ご注意

- この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「⑧リセットボタン」を押してください。
- 「⑧リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。